

# 食の未来づくり運動

私の宣言

子どもたちに「食べ物ができるまで」をたくさん教え、自然や生産者に感謝と尊敬を持てるように心掛けています。  
(渋谷区 名越麻子)

- 1 食料自給率の向上 食費の5割以上は東都生協の商品を利用し、食卓から日本の農業を応援しよう
- 2 日本の農業を元気に
- 3 持続可能な社会に向けて

## 「わたしのいいね」で組合員と生産者のエール交換

コロナ禍で産地・メーカーの皆さんと直接交流する企画が難しい中、地域によってはSNS(インスタグラムやツイッター)を利用するなど、新しい形の組合員活動にチャレンジしました。

組合員活動情報紙「ウォ」「地域版ウォ」などの広報紙では、「一人でも」「家の中でも」お気に入りの東都生協の商品や産地・メーカーについてコメントする活動「わたしのいいね」を募集し、届いた「いいね」(1月19日現在で73通)を産地・メーカーにお伝えしたところ、うれしい返信がありましたので紹介します。



**福岡自然農園の甘夏/悦ちゃん(足立センター)**  
甘夏、毎年楽しみにしています。味がさわやかで皮まで安心なのでオレンジピールやオレンジットに楽しんでいます。一度、農園を訪問してみたいですね。

**福岡自然農園より**  
コメントありがとうございます! 農園の甘夏は樹齢50年以上の木がほとんどで無骨さを醸し出してきましたが、洗練されたお菓子に変身して喜んでくれると思います!

**骨まで丸ごと甘酢味(さば)/はなみずき(第2地域)**  
甘酢味が好きな人ならご飯のお供にぴったり。缶詰とはひと味違うおいしさです。

**天生水産(株)より**  
組合員の皆さま、いつも「天生水産(株)」をご愛顧いただき誠にありがとうございます。これからも、お魚を通して「おいしくて、安心・安全な商品」をお届けしながら、皆さまの暮らしのお役に立てたらと願っております。

東都生協ホームページの「みんなの活動報告」で、この他の産地・メーカーからのお返事を紹介していますのでご覧ください。



1月報告



12月報告

これからも、野菜や果物と一緒に入っている「生産者カード」や商品レビューでも「いいね」を発信していきましょう。

### 東都生協 JA やさとプロジェクト主催

## やさとオンライン交流会「もっと! 丸ごとやさトーク」

登録商品「皮ごと丸ごとやさとの有機野菜セット」利用組合員とJAやさとのオンライン交流会が開催されました(12月18日)。



JA やさとプロジェクトメンバーが東都生協会議室から参加

参加した8人の組合員は自宅から、JAやさとの4人の就農者とJA職員はほ場(畑)などからの参加でした。

各組合員が自己紹介と登録理由を話した後、JAやさと・有機部会長の岩瀬直孝さんは東都生協と有機野菜の歴史を、若手就農者は野菜の生育と収穫についての現状を報告しました。

その後、組合員からの質問にJAやさとの皆さんが丁寧に回答。さらに「レシピ提供、お便りください」「組合員と一緒に環境保全に取り組みたい」などのメッセージがあり、組合員からも「お気に入り野菜(トップは赤かぶ)」と「コロナ禍でも野菜を通じてのつながりが心の支えです」などの思いが伝えられました。



組合員参加者はニックネームで呼び合いました

### Q&A(ほんの一例)

- Q:各生産者(29人)の品種の決め方や分担は?  
A:各生産者が作りたいものを出し合い、数を考えながら決めています。
- Q:作り続ける原動力は?  
A:組合員の皆さんからの生産者カードを見るとやる気が出ます。

✓チェック!① 「YouTube」東都生協公式チャンネル動画「行ったつもりで産地訪問～JAやさと編」もぜひご覧ください。



✓チェック!② 「皮ごと丸ごとやさとの有機野菜セット」を利用すると、「皮ごと丸ごと通信」が入っています。通信の「ズボラレシピ」はおススメ! 例えば「にんじんと紅くるり(赤大根)のサラダ」「わわ菜の塩昆布サラダ」などなど毎回楽しみです!



今月のつづき 春!! 昨年は、新型コロナウイルスの影響でお花見どころではありませんでした。コロナ以前のような「お花見」ができる日は来るのだろうか、今年もこのきれいな桜を愛でながら思います。ただどんな年でも、春の息吹を感じることはできるハズ。新一年生の明るい声を聞き、当たり前の生活が戻るようにと祈るばかりです。 Y.K.

お問い合わせ 組織運営部  
☎ 03(5374)4756  
月曜～金曜：午前9時～午後4時  
E-mail: kumikatsu@toho.coop  
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階